

# 琉球大学学術リポジトリ

ホソイトヒキサギ *Gerres macracanthus* (スズキ目:  
クロサギ科) の沖縄島からの記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2018-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮本, 圭, 岡, 慎一郎 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/38635">http://hdl.handle.net/20.500.12000/38635</a>



## ホソイトヒキサギ *Gerres macracanthus* (スズキ目: クロサギ科) の沖縄島からの記録

宮本圭<sup>1</sup>・岡慎一郎

〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川888番地 一般財団法人 沖縄美ら島財団

<sup>1</sup>e-mail: k-miyamoto@okichura.jp)

**要旨.** 2014年5月4日に沖縄島北部に位置する奥港にて1個体のホソイトヒキサギ *Gerres macracanthus* Bleeker, 1854 が釣獲された。これは沖縄島における本種の標本に基づく初めての記録である。

### はじめに

スズキ目 Perciformes クロサギ科 Gerreidae に含まれるクロサギ属 *Gerres* はインド・西太平洋から23有効種が知られている (Iwatsuki & Kimura 1998; Iwatsuki et al. 1996, 2002; Iwatsuki et al. 2007; Liu & Yan 2009)。このうち、背鰭第2棘が伸長する形質を有する種はイトヒキサギ類似種群 *G. filamentosus* complex にまとめられ分類学的整理がなされており、イトヒキサギ *G. filamentosus* Cuvier, 1829, ホソイトヒキサギ *G. macracanthus* Bleeker, 1854, ヤマトイトヒキサギ *G. microphthalmus* Iwatsuki, Kimura & Yoshino, 2002, *G. infasciatus* Iwatsuki & Kimura, 1998 の4種が含まれる (Iwatsuki & Kimura 1998; Iwatsuki et al. 1996, 2002)。前3種は国内での分布が確認されているものの、ホソイトヒキサギの国内での記録はきわめて少なく、西表島からの1個体、鹿児島県本土からの2個体および和歌山県南部からの1個体が報告されるのみである (Iwatsuki et al. 1996; 武内ら 2011; 畑ら 2014)。

2014年5月4日、著者らは沖縄島のほぼ北端に位置する奥港にて釣獲されたクロサギ属魚類1個体を入手した。本個体は背鰭第2棘が伸長するイトヒキサギ類似種群の特徴を有しており、精査したところホソイトヒキサギに同定された。これは沖縄島における本種の標本に基づく初記録となるため、ここに報告する。

### 材料と方法

計数・計測方法は Hubbs & Lagler (1947) および Iwatsuki et al. (1996) に、各部位の日本語名称は

中坊・中山 (2013) に従った。生鮮時の体色の記載は、固定前に撮影したカラー写真に基づく。本報告に用いた標本は一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター (OCF: Okinawa Churashima Foundation) に保管されている。

### 種の記録

#### *Gerres macracanthus* Bleeker, 1854

ホソイトヒキサギ

(図 1-A, B; 附録 1)

**標本.** OCF-P20140506-1, 1個体, 標準体長 147.8 mm, 沖縄県国頭郡国頭村奥港 (26°50'38"N, 128°14'24"E), 水深 3 m, 2014年5月4日, 釣り, 岡碧士採集。

**形態的特徴.** 計数形質と体各部の標準体長に対する割合を附録 1 に示した。体は楕円形で側扁し、体高はやや高い。眼は円形で眼径は吻長よりも長い。吻端は尖り、口は開口すると前下方に大きく突出する。主上顎骨露出部は中央部より前方で緩やかに細くなる。主上顎骨後端は眼の前縁を超えるが瞳の前縁には達さない。鰓耙はへら状で短い。背鰭は1基で、その起部は腹鰭起部の直上に位置する。背鰭第2棘は糸状に伸長し背鰭後縁を超える。胸鰭起部は腹鰭起部より前方に位置する。胸鰭は第6軟条が最長で、その先端は臀鰭起部に達する。腹鰭は短く、後端は肛門に達さない。臀鰭起部は第4背鰭軟条基部直下に位置する。臀鰭第1棘は短く、第2棘、第3棘および第1軟条はほぼ同長。尾鰭は明瞭に2叉し、両葉はほぼ同長で先端は尖る。体は剥がれやすい円鱗に覆われる。腹鰭基部には腋鱗を有し、背鰭基部および臀鰭基部は鞘鱗に覆われる。前鰓蓋骨上には3鱗列がある。

**色彩.** 生鮮時の体色 (図 1-A) はほぼ一様に銀白色であり、背面はやや暗く、腹面は明るい。体側上部には10本の不明瞭な細い暗色横帯が走る。背鰭鰭膜の地色は白色半透明であり、上



図 1. 沖縄島で採集されたホソイトヒキサギ (OCF-P20140506-1, 標準体長 147.8 mm). A: 生鮮時; B: 10%ホルマリン中で約4ヶ月固定.

Fig. 1. *Gerres macracanthus* collected from Okinawa Island, southern Japan (OCF-P20140506-1, 147.8 mm in standard length). A: fresh coloration ; B: coloration after 4 months preservation in 10% formalin.

半部では淡灰色を呈する。また、背鰭第 6 棘より後方の背鰭鰭膜には基底からやや離れた位置に 1 小黒点列が並ぶ。背鰭第 2 棘は暗灰色である。胸鰭はやや黄色みを帯びる。腹鰭は白色半透明であり、棘条部および先端付近ではやや白みが強い。臀鰭の大部分は白色半透明であり、軟条部鰭膜の中央部付近では無色透明となる。尾鰭はやや黄色みを帯び、下葉の下縁と先端は白色を呈する。

固定後の体色 (図 1-B) はほぼ一様に淡褐色であり、背面はやや暗く、腹面は明るい。体側上部には 10 本の細い暗色横帯が走る。この横帯は体側後半部ではやや不連続となるが、斑点状にはならない。背鰭の色彩は生鮮時と同様である。胸鰭、腹鰭および臀鰭は白色半透明で、腹鰭には黒色素が散在する。尾鰭は淡灰色である。

**分布.** 本種は紅海および南アフリカからミクロネシアまでのインド・西太平洋域の熱帯・亜熱帯域に分布する (Iwatsuki et al. 1996; Iwatsuki & Kimura 1998; Woodland 1983, 2001; Iwatsuki 2009; 波戸岡 2013)。本邦では西表島、沖縄島北部 (本研究)、鹿児島県薩摩半島西岸、大隅半島東岸および和歌山県南部から報告がある (Iwatsuki et al. 1996; 武内ら 2011; 畑ら 2014)。また、本邦の近隣では台湾からの報告がある (Shen & Wu 2011)。

**生息状況.** 調査標本は二級河川奥川の河口域付近に位置する奥港の砂底域から採集された。本種の生息環境は沿岸の砂底域や河口域とされており (Iwatsuki et al. 1996)、本標本を採集した水域環境と一致する。

**備考.** Iwatsuki et al. (1996) および Iwatsuki & Kimura (1998) はホソイトヒキサギの特徴として、側線有孔鱗数が 41–44、背鰭第 5 棘基底から側線までの横列鱗数が 4–5、側線上方横列鱗数が  $5\frac{1}{2}$ – $6\frac{1}{2}$ 、側線下方横列鱗数が  $9\frac{1}{2}$ – $10\frac{1}{2}$ 、体高が標準体長の 35.6–44.9%、臀鰭第 2 棘長および第 3 棘長がそれぞれ標準体長の 9.1–13.9%、10.4–14.4%、成魚や亜成魚は体側に通常 6–10 本の不明瞭な暗色横帯を有す、背鰭第 1 軟条および第 2 軟条の先端が暗色を呈す、などを挙げている。本種と他のイトヒキサギ類似種を比較すると、*G. infasciatus* は体高が標準体長の 45.0–47.1% と高く、体側に横帯が生じない点、および背鰭第 1 軟条および第 2 軟条の先端が黄色を呈する点により異なる (Iwatsuki & Kimura

1998)。また、イトヒキサギおよびヤマトイトヒキサギは臀鰭第 2 棘長および第 3 棘長がそれぞれ標準体長の 12.3–19.6%、11.9–17.3% (前者) および 12–15%、12–15% (後者) とやや長く、両種とも標準体長 100 mm 以上の個体では体側の横帯が楕円形の斑点からなる点で異なる (Iwatsuki et al. 1996, 2002; 波戸岡 2013)。今回沖縄島から得られた個体は Iwatsuki et al. (1996) の示したホソイトヒキサギの計数・計測値とほぼ一致し (附録 1)、上記の識別形質の組み合わせから判断してホソイトヒキサギと同定された。なお、調査標本の胸鰭基底位における体幅の体長比は Iwatsuki et al. (1996) の示した範囲よりも僅かに高かったものの、個体変異の範囲内と判断した。

本種はこれまで西表島から鹿児島県本土にかけての間での出現記録がなく、同海域は分布情報の空白域となっていた。畑ら (2014) は従前の出現記録をもとに、本種が鹿児島県本土から和歌山県南部にかけて連続的に分布しており、黒潮により偶発的に運ばれてくる可能性を示唆している。今回の沖縄島北部からの記録は、南西諸島における分布の空白域を埋めるとともに、本種が西表島から和歌山県にかけての黒潮流域に連続的に分布する可能性を示唆しているといえる。

## 謝辞

調査標本は名護市立大宮小学校児童の岡碧士君から提供いただいた。また、標本の同定にあたって有益な情報を頂いた宮崎大学の岩槻幸雄教授、改稿にあたり重要なお指摘をいただいた査読者の吉郷英範氏、1 名の匿名査読者および本誌編集委員長の成瀬貫博士に謹んで感謝の意を表す。

## 引用文献

- 畑晴陵・伊東正英・本村浩之, 2014. 鹿児島県から得られたクロサギ科ホソイトヒキサギ *Gerres macracanthus* の記録. *Nature of Kagoshima*, 40: 47–52.
- 波戸岡清峰, 2013. クロサギ科. 中坊徹次 (編著), 日本産魚類検索, 全種の同定, 第三版. Pp. 935–939, 2005–2008, 東海大学出版会, 神奈川.
- Hubbs, C.L. & K.F. Lagler, 1947. *Fishes of the*

- Great Lakes region, Cranbrook Institute of Science, Bulletin No. 26. Bloomfield Hills, Michigan.
- Iwatsuki, Y., 2009. *Gerres macracanthus* Bleeker, 1854. In: S. Kimura, U. Satapoomin & K. Matsuura (eds.), Fishes of Andaman Sea, west coast of southern Thailand. Pp. 149, National Museum of Nature and Science, Tokyo.
- Iwatsuki, Y. & S. Kimura, 1998. A new species, *Gerres infasciatus*, from the Gulf of Thailand (Perciformes: Gerreidae). Ichthyological Research, 45 (1): 79–84.
- Iwatsuki, Y., S. Kimura & T. Yoshino, 2002. A new species: *Gerres microphthalmus* (Perciformes: Gerreidae) from Japan with notes on limited distribution, included in the “*G. filamentosus* complex”. Ichthyological Research, 49 (2): 133–139.
- Iwatsuki, Y., S. Kimura & T. Yoshino, 2007. A review of the *Gerres subfasciatus* complex from the Indo-West Pacific, with three new species (Perciformes: Gerreidae). Ichthyological Research, 54 (2): 168–185.
- Iwatsuki, Y., S. Kimura, H. Kishimoto & T. Yoshino, 1996. Validity of the gerreid fish, *Gerres macracanthus* Bleeker, 1854, with designation of a lectotype, and designation of a neotype for *G. filamentosus* Cuvier, 1829. Ichthyological Research, 43 (4): 417–429.
- Liu, J. & Y.-R. Yan, 2009. A new species, *Gerres septemfasciatus* (Perciformes: Gerreidae) from the Chinese coastal waters of South China Sea. Chinese Journal of Oceanology and Limnology, 27 (3): 555–557.
- 中坊徹次・中山耕至, 2013. 魚類概説 第三版. 中坊徹次 (編著), 日本産魚類検索, 全種の同定, 第三版. Pp 3–30, 東海大学出版会, 神奈川.
- Shen, S.C. & Wu, K.Y., 2012. Fishes of Taiwan. National Museum of Marine Biology & Aquarium, Pingtung. [in Chinese]
- 武内啓明・朝井俊亘・内山りゅう・細谷和海, 2011. 近畿大学農学部所蔵の内山りゅう魚類標本コレクション. 近畿大学農学部紀要, 44: 63–87.
- Woodland, D.J., 1983. Gerreidae. In: W. Fischer & G. Bianchi (eds.), FAO Species Identification Sheets for Fisheries Purposed Western Indian Ocean. Fishing Area 51, vol. 2. Pages “GREE” to “GREE Pent 1”. FAO, Rome.
- Woodland, D. J., 2001. Gerreidae. In: K.E. Carpenter & V. H. Niem (eds.), FAO species identification guide for fishery purposes, The living marine resources of the western central Pacific. Vol. 5, No. 3. Pp. 2946–2960. FAO, Rome.

**Occurrence of *Gerres macracanthus* (Perciformes: Gerreidae) from Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, Japan**

**Kei Miyamoto<sup>1</sup> & Shin-ichiro Oka**

<sup>1</sup>e-mail: k-miyamoto@okichura.jp

**Abstract.** One specimen of *Gerres macracanthus* was collected from northern Okinawa Island, Ryukyu Archipelago, on 4th May 2014. This report represents the first reliable record of this species based on a specimen from Okinawa Island.

投稿日: 2014年7月7日

受理日: 2014年11月1日

発行日: 2014年12月4日

附録1 ホソイトヒキサギの計数・計測値.

Appendix 1 Counts and measurements of *Gerres macracanthus*.

	This study 本研究	Iwatsuki et al. (1996) 岩槻ら (1996)		
	OCF-P20140506-1  Okinawa I., Japan 日本, 沖縄島	Lectotype  Batavia, Indonesia インドネシア, バタヴィア	Paralectotypes (n=3)  Batavia, Indonesia インドネシア, バタヴィア	Non-type specimens (n=42)  Indo-wast Pacific incl. Red Sea インド・西太平洋 (紅海を含む)
Standard length (mm) 標準体長 (mm)	147.8	95.0	70.0–80.0	58.0–166.0
<b>Counts</b> 計数值				
Dorsal fin rays 背鰭鰭条数	IX, 10	IX, 10	IX, 10	IX, 10
Anal fin rays 臀鰭鰭条数	III, 7	III, 7	III, 7	III, 7–8
Pectoral fin rays 胸鰭鰭条数	17	16	16	15–17
Pelvic fin rays 腹鰭鰭条数	I, 5	I, 5	I, 5	I, 5
Pored lateral line scales 側線有孔鱗数	43+2	42+2	41–42+2–3	41–44+2–5
Scales above lateral line 側線上方横列鱗数	5½	5½	5½	5½–6½
Scales below lateral line 側線下方横列鱗数	10½	10½	9½–10½	9½–10½
Scales between 5th dorsal fin spine base and lateral line 第5背鰭棘条下側線上 方 横列鱗数	4½	4½	4–4½	4–5
Gill rakers 鰓耙数	5+1+7	5+1+7	5+1+7	5–7+1+7
Vertical bands on body 体側の横帯数	10 band	6 band	4–6 band	6–14 band
<b>Measurements (% SL)</b> 計測値 (%SL)				
Body depth 体高	39.8	38.4	35.6–41.0	35.6–44.9
Body depth at first anal fin spine base 第1臀鰭棘位における体 高	36.1	31.1	31.9–34.4	31.1–38.4
Head length 頭長	30.0	31.6	31.3–31.9	28.2–33.5
Body width at pectoral fin base 胸鰭基部における体幅	14.5	14.2	11.9–13.6	11.7–13.0
Snout length 吻長	9.0	9.6	8.6–10.0	8.6–11.1
Orbit diameter 眼窩径	10.2	10.5	10.0–12.7	10.0–12.7
Interorbital width 眼窩幅	10.3	10.6	9.8–11.4	9.5–12.4

	This study 本研究	Iwatsuki et al. (1996) 岩槻ら (1996)		
	OCF-P20140506-1	Lectotype	Paralectotypes (n=3)	Non-type specimens (n=42)
	Okinawa I., Japan 日本, 沖縄島	Batavia, Indonesia インドネシア, バタヴィア	Batavia, Indonesia インドネシア, バタヴィア	Indo-wast Pacific incl. Red Sea インド・西太平洋 (紅海を含む)
Measurements (% SL) continued 計測値 (%SL) の続き				
Upper jaw length 上顎長	9.9	11.1	10.0–11.4	9.5–13.8
Caudal peduncle depth 尾柄高	11.3	10.5	11.1–12.9	10.9–13.5
Predorsal length 背鰭前長	39.7	39.5	39.4–44.3	39.4–44.7
Preanal length 肛門前長	62.4	63.2	59.7–63.1	56.9–67.6
Prepelvic length 腹鰭前長	38.0	40.1	37.4–40.3	37.3–44.2
Dorsal fin base length 背鰭 基底長	55.8	53.9	50.0–52.1	50.0–57.0
Anal fin base length 臀鰭基底長	19.9	16.3	16.4–18.1	16.4–20.9
Pelvic fin spine length 腹鰭棘長	16.9	14.7	9.9–15.9	9.6–17.9
First pelvic fin ray length 第1腹鰭軟条長	21.0	20.2	17.5–19.3 (n=2)	17.5–26.8
Longest pectoral fin ray length 胸鰭最長軟条長	39.3	35.8	31.3 (n=2)	31.3–41.5
First pectoral fin ray length 第1胸鰭軟条長	2.6	2.1	2.4–2.8	1.7–3.4
Second dorsal fin spine length 第2背鰭棘長	59.7	broken	32.7–38.3 (n=2)	32.7–66.2
Third dorsal fin spine length 第3背鰭棘長	29.2	18.2	18.1–22.9	18.1–30.1
Last dorsal fin spine length 背鰭最終棘長	8.9	9.5	8.6–10.1	8.2–12.0
First dorsal fin ray length 第1背鰭軟条長	12.9	12.2	broken	10.4–16.9
First anal fin spine length 第1臀鰭棘長	2.6	2.1	2.1–3.4	2.0–3.4
Second anal fin spine length 第2臀鰭棘長	11.8	12.1	12.9–13.9	9.1–13.9
Third anal fin spine length 第3臀鰭棘長	11.9	11.6	12.2–14.4	10.4–14.4
First anal fin ray length 第1臀鰭軟条長	11.9	broken	broken	11.1–15.3